

報告書

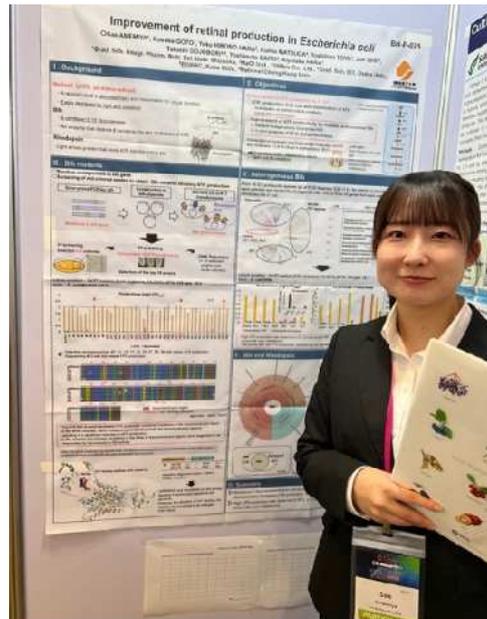
TSB2025 にてポスター発表

2025年10月29日から31日にタイのバンコクで開催された「37th Annual Meeting of the Thai Society for Biotechnology and International Conference (TSB2025)」に参加しました。本学会は“Biotechnology in Action”をテーマに生物工学（バイオテクノロジー）に関する学理およびその応用の研究について、発表・知識の交換・情報提供を行いました。

私は「Improvement of retinal production in *Escherichia coli*」という題目で、ポスター発表を行いました。大腸菌におけるレチナール(ATR)生産性を高めることを目的とし、レチナール変換酵素である Blh において、変異導入やデータベースからの系統解析により、高い ATR 生産株が得られた研究について発表しました。

1 時間半のポスター発表では 10 名以上の各国の研究者や学生と英語で議論を行いました。来訪者は多様な微生物を用い、さまざまな用途を目的とした研究に取り組んでいたため、なぜ大腸菌を用いたのか、また代謝経路の詳細など、研究の基盤に関する質問を受けることが多くありました。初めての国際学会ということもあり、当初は緊張や不安を感じていましたが、発表は終始和やかな雰囲気の中で進み、落ち着いて議論することができました。事前に十分な準備を行って臨んだため、研究内容の説明自体は練習通り行うことができましたが、質問を聞き取ることや、それに即座に英語で回答することには苦戦しました。その際には、お互いに分かりやすい英語で言い換えながら伝え合い、理解しようとする姿勢に温かさを感じました。また、他の研究者の発表も非常に興味深く、内容を完全に理解することは難しい場面もありましたが、英語での発表を聞き取り、研究内容を理解できたときの喜びは、国内学会とは異なるものでした。

今回の学会を通して、研究面、語学面ともにより一層熱意を持って取り組みたいと強く感じました。この度は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。



薬食生命科学総合学府 環境科学専攻
博士前期課程2年 環境工学研究室
雨宮 彩恵